

ながまち荘

VOL 53

だより



編集発行

社会福祉法人 済生会支部山形県済生会 特別養護老人ホーム **ながまち荘**

〒990-0811 山形市長町751番地

■指定介護老人福祉施設 TEL(023)684-2391 (代表) FAX(023)684-2394

■指定短期入所生活介護事業所 TEL(023)681-5732

■指定通所介護事業所 TEL(023)681-7589

■済生会なでしこ地域包括支援センター

TEL(023)681-7450 FAX(023)681-7603

■指定居宅介護支援事業所 TEL(023)681-2865

■おれんじサポートチームえがお
(認知症初期集中支援業務・認知症地域支援推進業務)
TEL(023)687-0200 FAX(023)687-0211

発行責任者 施設長 峯田幸悦

発行日 令和5年2月

印刷 コロニー印刷

E-mail nagamachiso@yamagata-saiseikai.org

施設長挨拶



特別養護老人ホームながまち荘

施設長 峯 田 幸 悦

2019(令和元)年に新型コロナウイルスの衝撃が世界中を駆け巡ってから早いもので4年になるうとしています。この4年間、人類はウイルスの変異に翻弄され続けています。世界中の最先端といわれる科学・医療技術がこれだけ進化しても制御できないものが自然界には存在するわけであり、自然の中にあつて人間は謙虚であるべきことを改めて感じさせられます。

地域社会に目を向ければ、超高齢社会の進行や世帯構造の変化に伴う夫婦のみ世帯、高齢者世帯の増加、生活困窮者、ひきこもり、刑余者支援、そしてこれらを支える社会保障費の増大など、私たちの暮らしを取り巻く環境には様々な課題が山積みしています。社会福祉施設として社会に求められる役割は何か？ 済生会、そしてながまち荘はこれら多様な社会課題に対して総力をもつて果敢に取り組み社会的使命を果たしてまいります。

介護、健康、防災、福祉教育、多文化共生…これからのながまち荘は老人福祉施設としての機能にとどまらず、地域の社会資源として地域の皆さんと共に歩み続け、地域力を創出する事業所であり続けられるよう職員一同努めて参ります。

皆様の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「新型コロナウイルス感染症

クラスター体験談」を講演

介護主査 会田 るみ

「令和4年度介護施設における新型コロナウイルス対策研修」が、令和4年11月7日には庄内地方で、同月14日には村山地方で開催され、当荘が経験したコロナクラスターの経過を報告しました。

風評被害も懸念しましたが、地域の医療・福祉・行政と広く情報共有しネットワークを築く事が必要と考え、主催者の山形県地域包括支援センター等協議会の講演依頼を受けました。いずれも定員80名を上回る100名程が聴講し、介護施設で働く職員の感染予防対策の関心の高さを改めて感じました。

講演では ①クラスター発生時の初動 ②職員確保のための応援職員要請 ③全室隔離時の入居者の様子 ④職員の役割分担 ⑤クラスター期間中の課題と要因分析 ⑥かかり増し経費等を報告。そして「日常的に職員個々が感染予防意識を高く持ち、有事には施設一丸の対応が必要である」という事を、経験者の立場から伝えました。

質疑応答では、職員の役割分担や多居室でのゾーニング(清潔区域と汚染区域を明確に区別すること)について質問があがるなど、活発な意見交換ができました。



ケアマネジャー「事例検討会」開催

令和4年12月14日、他法人を含む5つの居宅介護支援事業所が集まり事例検討会を行いました。この会は年に1回開催しており、今回は当荘が事務局となり合計17名のケアマネジャーが参加しました。事例提供施設のいきいきの郷より、支援困難な事例について説明を受けた後、4つのグループに分かれて支援方法を検討しました。今回は精神疾患をもった家族への支援も必要な事例でしたが、似た状況を経験したケアマネジャーからアプローチ方法のアドバイスがあったり、行政支援の情報交換を行い、今後の支援に活かせるようなアイデアがいくつも生まれました。担当ケアマネジャーだけでは支援が行き詰まりそうな時、こうして他のケアマネジャーの話を聞く事で支援の道が開ける事は日頃から感じています。

今回は法人を越えて、新人から大ベテランのケアマネジャーまで参加する検討会となりましたがそれぞれに新たな発見や気づきがあったようで、とても有意義な時間となりました。



認知症集中支援業務
認知症地域支援推進業務

「おれんじサポートチーム
えがお
認知症予防教室開催」



マスコットキャラクター
【笑(えみ)ちゃん】

おれんじサポートチームえがおは、地域に出向いて認知症予防教室を行っています。今年度は清水町内・山寺地区での開催でした。おれんじサポートチームえがおと一緒に、当荘の佐藤管理栄養士、木村作業療法士と井上作業療法士、そして山形県歯科衛生士会の渡邊歯科衛生士が講座を行いました。

講座は「認知症の基本的な知識」と「栄養・運動・口腔から考える認知症予防」の2本立てでした。高齢期で気を付けることはメタボよりも「低栄養」であることや、運動をしながら頭を鍛えること、口腔衛生が認知症予防につながることを学びました。

「栄養や口腔のケアは脳にも良いと知った」「何も考えずに散歩をしていたが、数を数えたりしりとりをしながら散歩してみようと思った」等の感想が寄せられました。

認知症の一番の原因は「加齢」であり、長寿国である日本は、誰もが認知症になる可能性があります。

それ故に、もっと沢山のの人に認知症の事を知ってもらえるよう、今後も認知症の普及啓発に取り組んでいきたいと思っております。



済生会なでしこ
地域包括支援センター

済生会なでしこ地域包括支援センターでは、地域の身近な高齢者の相談窓口として「出羽・大郷・明治・千歳」地区を担当しています。平成18年4月に山形市より委託を受け、山形済生病院サビース棟1階で事業を開始し17年目を迎え、令和4年4月1日より当荘へ移転となっております。

- 最近寄せられた相談として…
- コロナで外出が減り、筋力も弱っており心配。運動の機会をもちたい。
- 最近転ぶことが続いており、玄関に手すりをつけたい。 など…

現在新型インフルエンザ感染症拡大防止の点から、事前にセンターへお電話を頂き、相談内容に合わせて対応しております。ご理解のほどよろしくお願い致します。

済生会なでしこ地域包括支援センター

電話 023-681-7450

営業時間 平日 8:30～17:30



クリスマス



101歳おめでとう!



1月15日で101歳になりました♡
これからも元気に過ごせますように…。

メリークリスマス!

ケーキでクリスマスを楽しみました。
どのケーキも美味しそうで迷っちゃう…。



獅子舞



やんだー。
おっかないったら〜。

おせち

1月1日 元旦。
おせち料理でお正月を満喫。



今年も良い年になりますように…。

季節や行事の雰囲気を感じて
いただけるよう関わっています。



初釜

上手にお茶が点でられました。



上生菓子、
きれいだし美味しそう。



苦いけど
美味しい。



やったことないけど…
「こうだが?」



甘くて美味しい!



お茶の香り…。
いい香り



ショートステイ (短期入所)



クリスマス準備

クリスマスを盛り上げる為に牛乳パックを切って文字を作り、絵の具で色を染めました。



軽作業で リハビリ

コップ拭きや簡単な色合わせや色紙を丸める作業を行っています。



職員の資質向上

事業所会議で高齢者虐待防止について研修を行いました。カンファレンスや研修を通してご利用者一人一人に合った介護を実施しております。

メリークリスマス



クリスマスケーキを食べました♪

シングルベル
ツングルベル
鈴がなる〜♪



お正月

本年もよろしくお願致します。



初釜



デイサービス (通所介護)

個別機能訓練

1人1人の身体の具合に合わせてグループに分かれて体操を頑張っています！



レク活動

スバッとボール!



デイサービスの
応援団

季節の装飾づくり



かわいいバエ



職員の手作り「雪灯籠」



Merry Christmas

クリスマス



うまい!





業務主査(公認心理師)
竹田 征子

衛生管理者として、職員の健康を守る支援を行いながら、公認心理師として「こころの健康」にも取り組んでいます。ながまち荘としても「こころの健康」を大切にしており、業務時間内における個別カウンセリングを実施させていただいております。「こころ」と「からだ」のトータルサポートを心がけていきたいです。



～ストレスと上手く付き合いたいあなたへ～



ストレスとは何か

体の中におこる生理的・心理的な歪みのことを指しています。

ストレスは悪か

よりよく生きようとする人は、現実とのギャップにストレスを感じやすく、ストレスを抱えこみやすいものです。しかし、そのストレスを乗り越え、現実とのギャップを埋める事が出来れば、それは計り知れない充実感や満足感、幸福に繋がります。つまり、適度のストレスは、生活の質の向上をもたらすのです。

喜ばしいこともストレスになる

結婚や昇進など、誰もが喜ばしいと感じるような出来事でもストレスになる事があります。これらのストレスは、自分では気づきにくく、他者にも気づかれにくいかもしれません。

ストレスと上手く付き合うために

気づきにくく、気づかれにくいストレスに対応するために、まず自分に関心を持ちましょう。そこがスタートです。それができたら、ステップ1・ステップ2を意識しましょう。もしかしたら、ステップ2の段階で、誰かに声をかけることにためらいを感じるかもしれません。でも、あなたが健やかでいられる事が、あなたを含めたあなたの周りの人も幸せにするのです。迷わずに、声をかけてみましょう。

ステップ1 こころとからだのサインと向き合う

こころのサイン

- 不安や緊張が高まって、イライラしたり怒りっぽくなったりする
- ちょっとしたことで驚いたり、急に泣き出したりする
- 気分が落ち込んで、やる気がなくなる
- 人づきあいが面倒になって避けるようになる など

からだのサイン

- 寝つきが悪くなったり、夜中や朝方に目が覚めたりする
- 食欲がなくなって食べられなくなったり、逆に食べすぎたりする
- 下痢したり、便秘しやすくなったりする
- めまいや耳鳴りがする など

ステップ2 こころとからだのサインに気付いたら、「一人で我慢しないで、だれかに話す」

動画配信

KAIGO PRIDE

介護の魅力発信プロジェクト「KAIGO PRIDE」で配信する動画に、ながまち荘デイサービスの利用者様と職員が出演しています。動画では現役介護職4人が語る心構えに気づかされることも多く、気持ちも温かくなるのではないかと思います。ぜひご覧ください。

「介護プライド My Diary」で検索または右記QRコードからどうぞ!



介護プライド My Diary

検索

NEW!

Instagram

はじめました!



NOGAMACHI_DAY

@nagamachi_day

ながまち荘デイサービス

編集後記

寒気もようやく緩み始め、まもなく春を迎えようとしております。出会いや別れ、環境の変化などで、感情が大きく揺れ動くことも多いかと思えます。そんな時、今回の公認心理師からのワンポイントアドバイスが皆様のストレス軽減の一助となれば幸いです。

令和4年度もながまち荘の運営に多大なるご理解をいただきありがとうございます。引き続き感染症対策を実施しながら、利用者様が安心して過ごしていただけるよう職員一同努めて参ります。

広報委員 / 岩崎勝也、三浦真澄、佐藤郁恵、高見友郁、大場智子、種本佳奈恵、佐々木香織、鈴木郁苗、湯川惠美

苦情報告

令和5年2月、施設送迎車に後ろから追られ恐怖を感じた。送迎車が危険な運転をして大丈夫なのか心配になったとお電話がありました。

→運転当事者に確認したところ、出発が遅れ利用者様との約束の時間に間に合わせようと焦ってしまったとのことでした。職員しか乗車していない時であっても安全運転に努め、危険な運転は絶対に行ないよう指導いたしました。

今後にも気になる点がございましたら、お気軽に相談やお問い合わせ等いただきましたと幸いです。